

# 北海道におけるカイサカネラン (ラン科) の産地

内田暁友<sup>1</sup>・滝田謙譲<sup>2</sup>

1. 099-4113 北海道斜里郡斜里町本町 49-2, 斜里町立知床博物館 2. 085-0806 北海道釧路市武佐 2-34-21

## Localities of *Neottia japonica* (Orchidaceae) in Hokkaido

UCHIDA Akitomo<sup>1</sup> & TAKITA Kenjoh<sup>2</sup>

1. Shiretoko Museum, 49-2 Hon-machi, Shari, Hokkaido 099-4113, Japan. [akitomo-u@apost.plala.or.jp](mailto:akitomo-u@apost.plala.or.jp) 2. 2-34-21 Musa, Kushiro, Hokkaido 085-0806, Japan

### はじめに

カイサカネラン *Neottia japonica* (M. Furuse) K. Inoue は日本固有のラン科植物で、山梨県と長野県より報告されてきた (Furuse & Chen 1988; 今井・井上 1998) が、近年になって報告者の 1 人である滝田が北海道新産として報告した (滝田 2001)。これは報告者の 1 人である内田が知床半島で 2000 年に採集した標本に基づいており、滝田 (2001) によって本種がモイワナズナなどにみられる本州中部地方と北海道との隔離分布を示す植物であることが明らかになった。

本種は環境庁版レッドデータブック (環境庁自然保護局野生生物課 2000) および北海道版レッドデータブック (北海道環境生活部環境室自然環境課 2001) では絶滅危惧植物として選定されていないが、2002 年には長野県版レッドデータブックで絶滅危惧 IA 類 (CR) と判定されており (長野県自然保護研究所・長野県生活環境部環境自然保護課 2002)、現在本州では稀な植物であることがわかっている。従って環境省および北海道のレッドデータブックにおいても今後の改訂の際に調査・選定対象となると考えられるが、北海道における分布、および現存量については明らかになっていない。ここでは北海道内の植物標本庫の調査によって得られた北海道の産地について報告する。

### 結果と考察

標本調査によって明らかになった 6 産地につい

て Fig. に示す。標本によって得られた本種の分布は北海道東部に偏っていた。また、標本はサカネラン *Neottia nidus-avis* (L.) Rich. var. *manshurica* Kom. と誤同定されていることが多かった。

本種の北海道における標本は現在のところ極めて少ない。これはカイサカネランの産地および現存量の少なさを示すものだが、開花期が 8-9 月と他のラン科植物と比べて遅いことから、これまでの植物相調査では見逃されていた可能性もある。従って今回明らかになった産地における現状の把握に加え、北海道全域での 9 月を中心とした調査による分布域の確定が急がれる。

なお、本種は他の北海道産サカネラン属 *Neottia* とは、(1) 植物体および花被片が緑色で全体に白

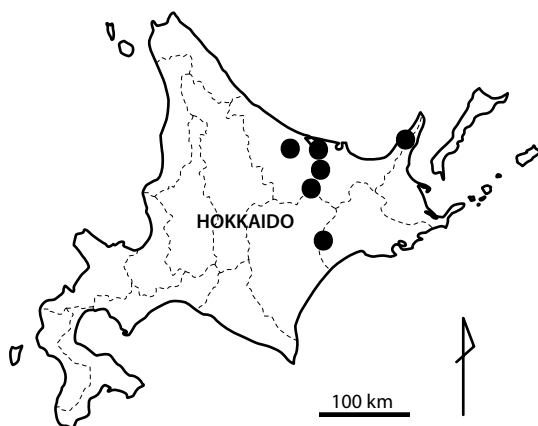


Fig. Distribution map of *Neottia japonica* in Hokkaido.

色毛が散生すること, (2) 唇弁が短く, 他の花被片とくらべてやや長い程度で, 先端が3裂する(中央の裂片はときに非常に小さくなる)こと, (3) 花期が8-9月と遅いことから容易に区別することができる。

#### 謝辞

北海道大学総合博物館の高橋英樹教授, 北海道大学植物園の東隆行助手, 北網圏北見文化センターの柳谷卓彦学芸員, 知床森林センターの谷本哲朗所長には標本閲覧の便を計っていただいた。また高橋教授には本稿をまとめるにあたって有益な助言をいただいた。ここに記して謝意を表す。

#### 確認標本

北海道, 網走支庁: 紋別市上鴻之舞, 1955年10月3日, 川代善一 s.n., 知床森林センター; 北見国サロマ湖幌岩山[北見市常呂町幌岩山], 1954年9月17日, 三角亨 s.n., SAPS 006554; 北見市緑ヶ丘 1982年9月7日, 松木恒夫 s.n., 北網圏北見文化センター 02594, 02595; 常呂郡訓子府町美園, 1981年8月31日, 松木恒夫 s.n., 北網圏北見文化センター 02593; 斜里郡斜里町イダシュベツ川流域, 2000年8月29日, 内田暁友 2305, SAPS 006555; 2000年9月29日, 内田暁友 2306, 知

床博物館。釧路支庁: 白糠郡音別町サトンベツ山地[釧路市音別町サトンベツ山地], 1997年9月6日, 滝田謙讓 7241, 北大植物園。

#### 引用文献

- Furuse M. & Chen S. 1988. The Discovery of *Archineottia* (Orchidaceae) in Japan. *Acta Phytotax. Sin.* 26: 69-73.
- 北海道環境生活部環境室自然環境課(編). 2001. 北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001. 8 pls. + 309 pp. 北海道, 札幌.
- 今井建樹・井上建. 1998. カイサカナラン再発見される. *植物分類地理* 49: 197-199.
- 環境庁自然保護局野生生物課(編). 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—8植物1(維管束植物). 16 pls. + 660 pp. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 長野県自然保護研究所・長野県生活環境部環境自然保護課. 2002. 長野県版レッドデータブック(維管束植物編). 24 pls. + 297 pp. 長野県自然公園協会, 長野市.
- 滝田謙讓. 2001. 北海道植物図譜. v + 1452 pp. 自費出版, 釧路市.